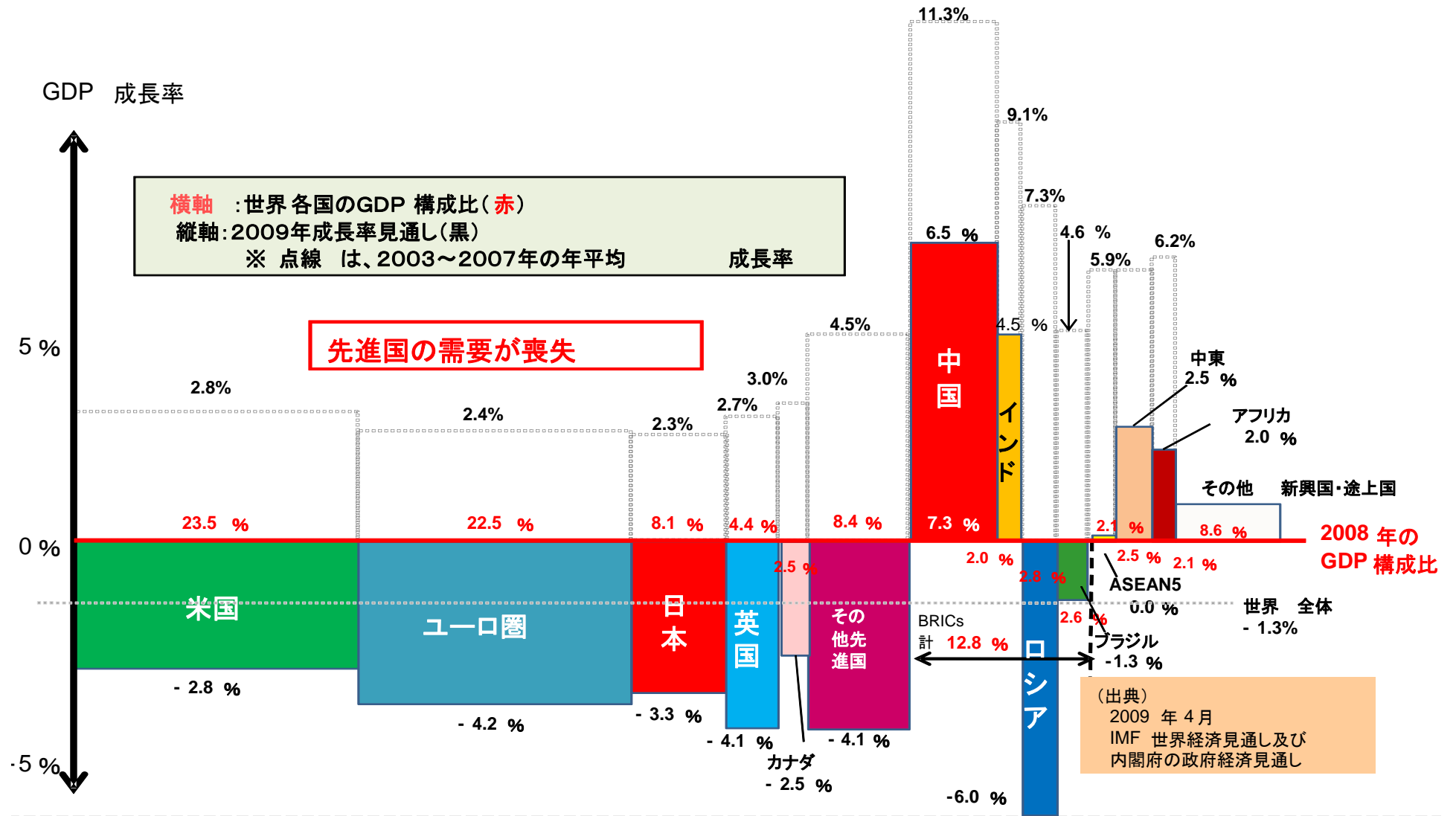


東アジアの現状と将来展望 (資料)

日本生命保険相互会社 特別顧問 北畑隆生

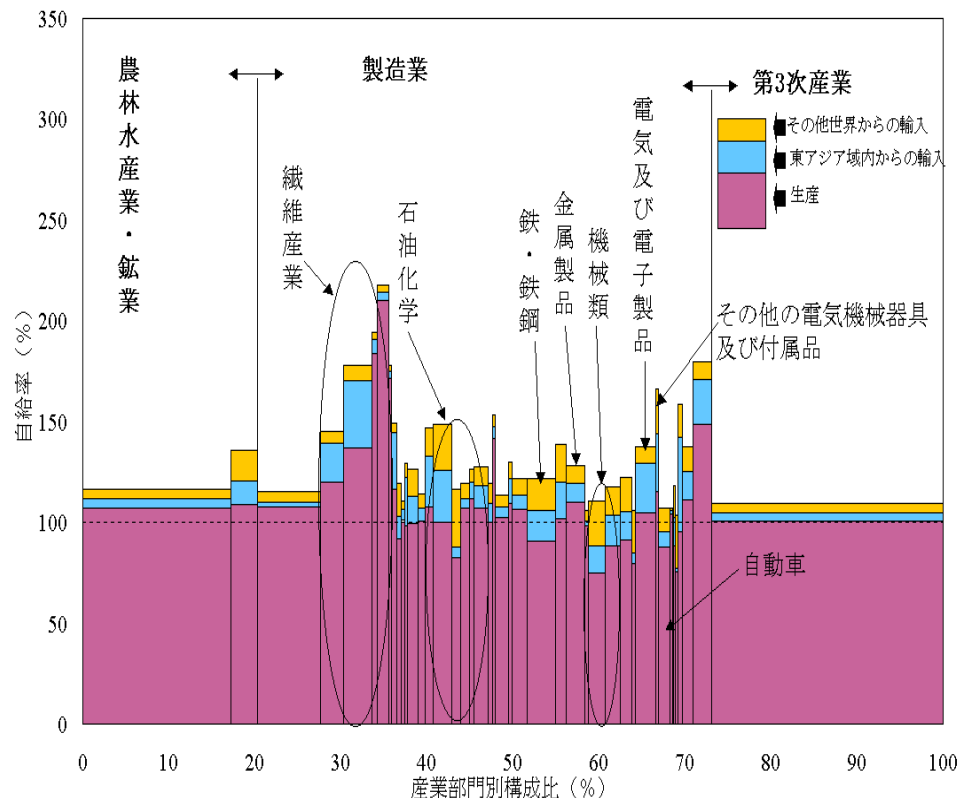
(資料1)新興国の台頭 世界経済の支え役に



(資料2) 中国の産業構造の変化

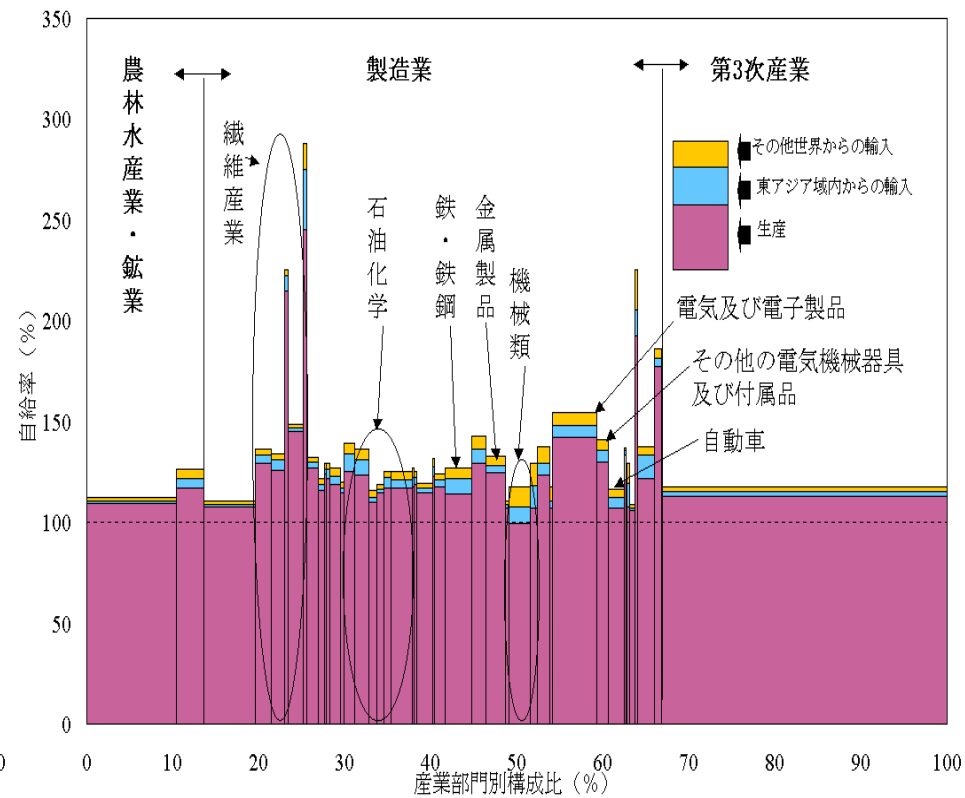
○中国においては、労働集約的な産業に加え、2000年に入り電気電子・石油化学、鉄鋼など資本集約産業型の国内基盤が強化。

付図2-1-4 (1)1990年 中国のスカイラインチャート



(資料) アジア経済研究所「アジア国際産業連関表 1990年」から作成。

付図2-1-4 (2)2000年 中国のスカイラインチャート

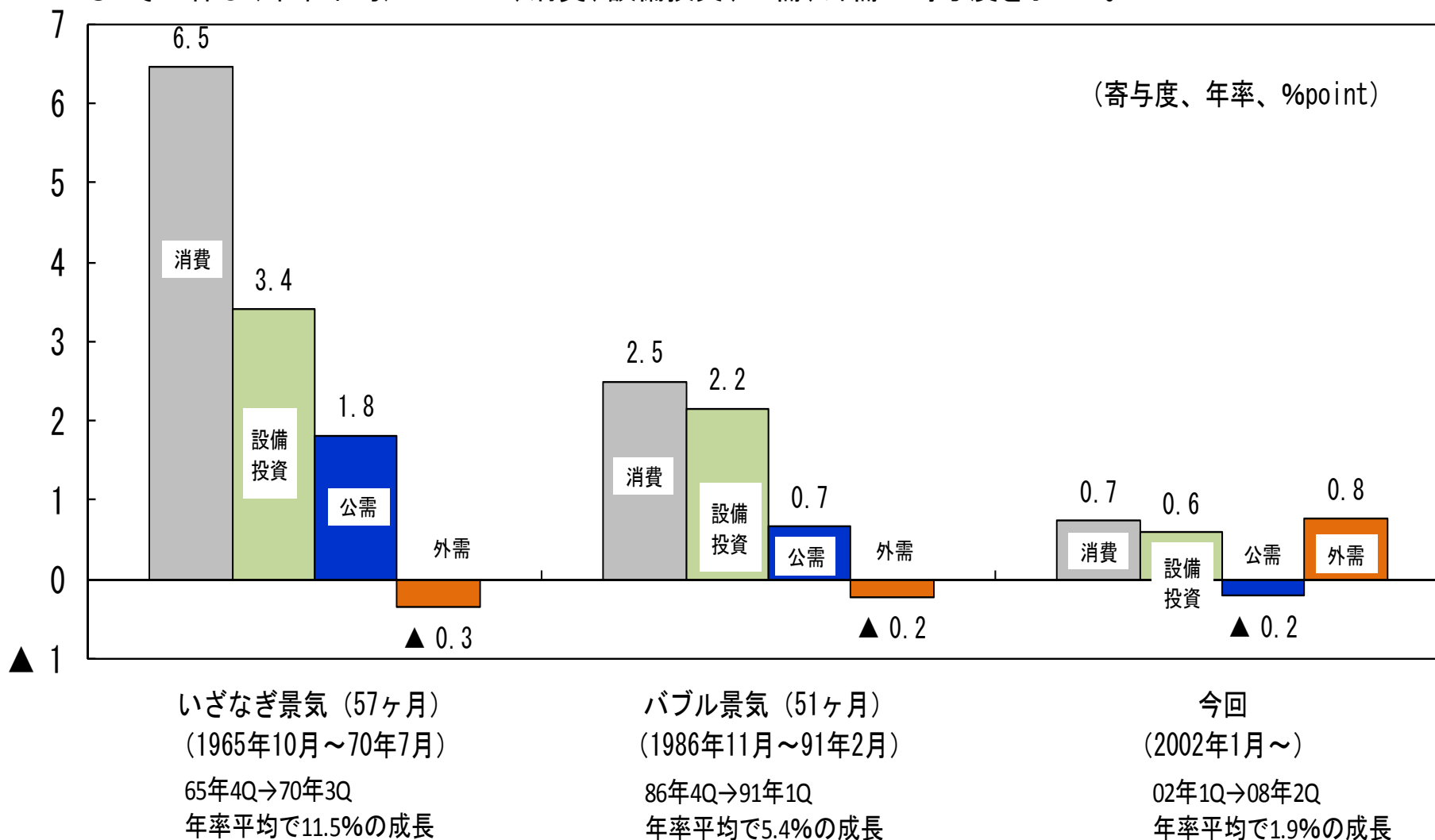


(資料) JETRO「アセアンリージョナル交渉等に向けた関税関連調査(インドネシア)」から経済産業省作成。

※横軸は当該部門の国内での生産額シェア(幅の太い産業ほど、その国の経済の生産全体に占める割合が大きい)、縦軸は自給率(国内調達率)100%のところに線が引かれ、それを上回る部分が輸出。
出典:通商白書(2005年版)

(資料3)これまでの景気回復局面における需要項目別の寄与度

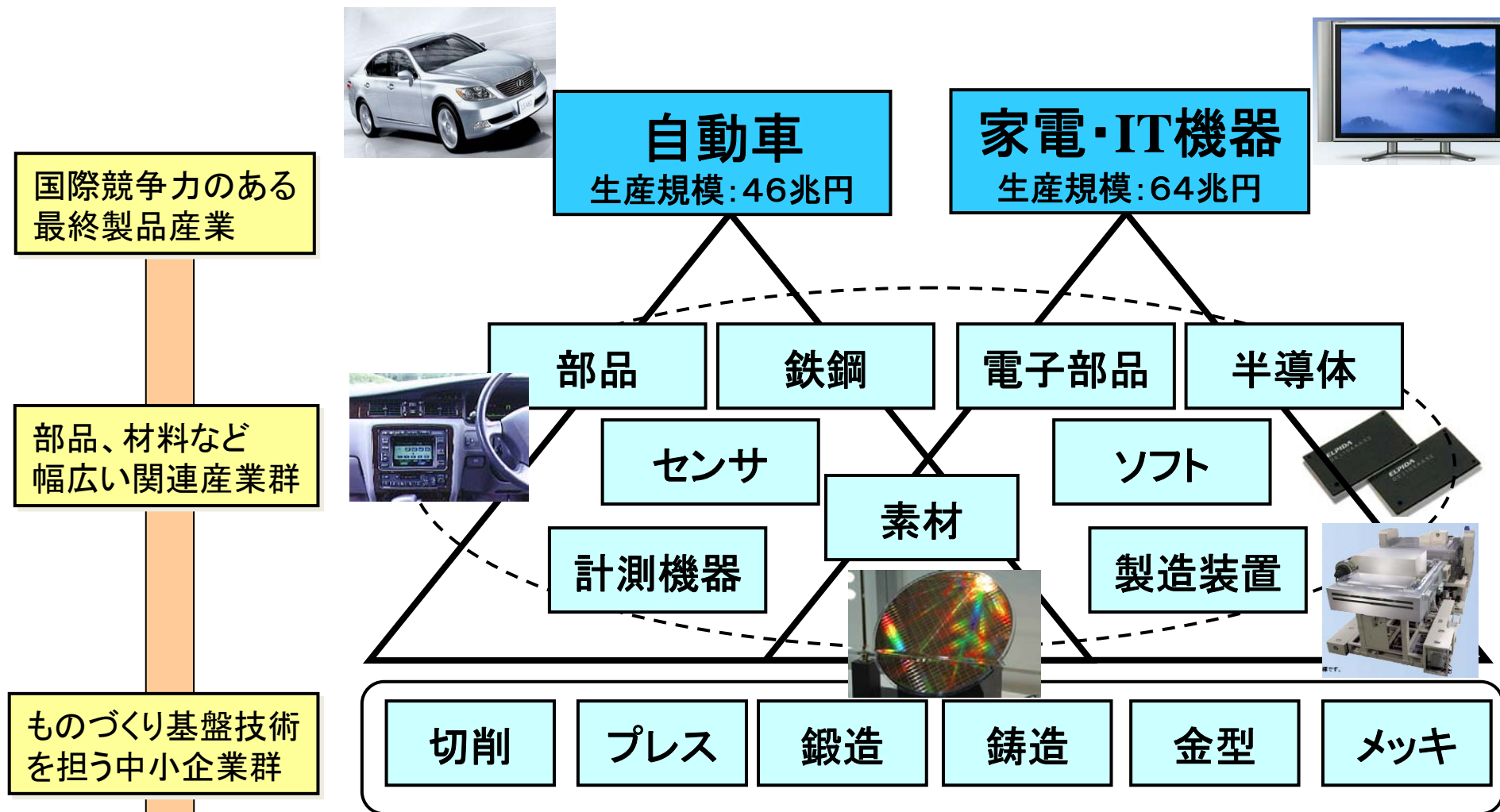
- 景気の谷が属する四半期と山が属する四半期の実質GDPを比較。
- その伸び(年率平均)について、消費、設備投資、公需、外需の寄与度を示した。



(出所) 国民経済計算 (内閣府)

(注) 今回の景気回復局面は、08年4-6月期までの数値。

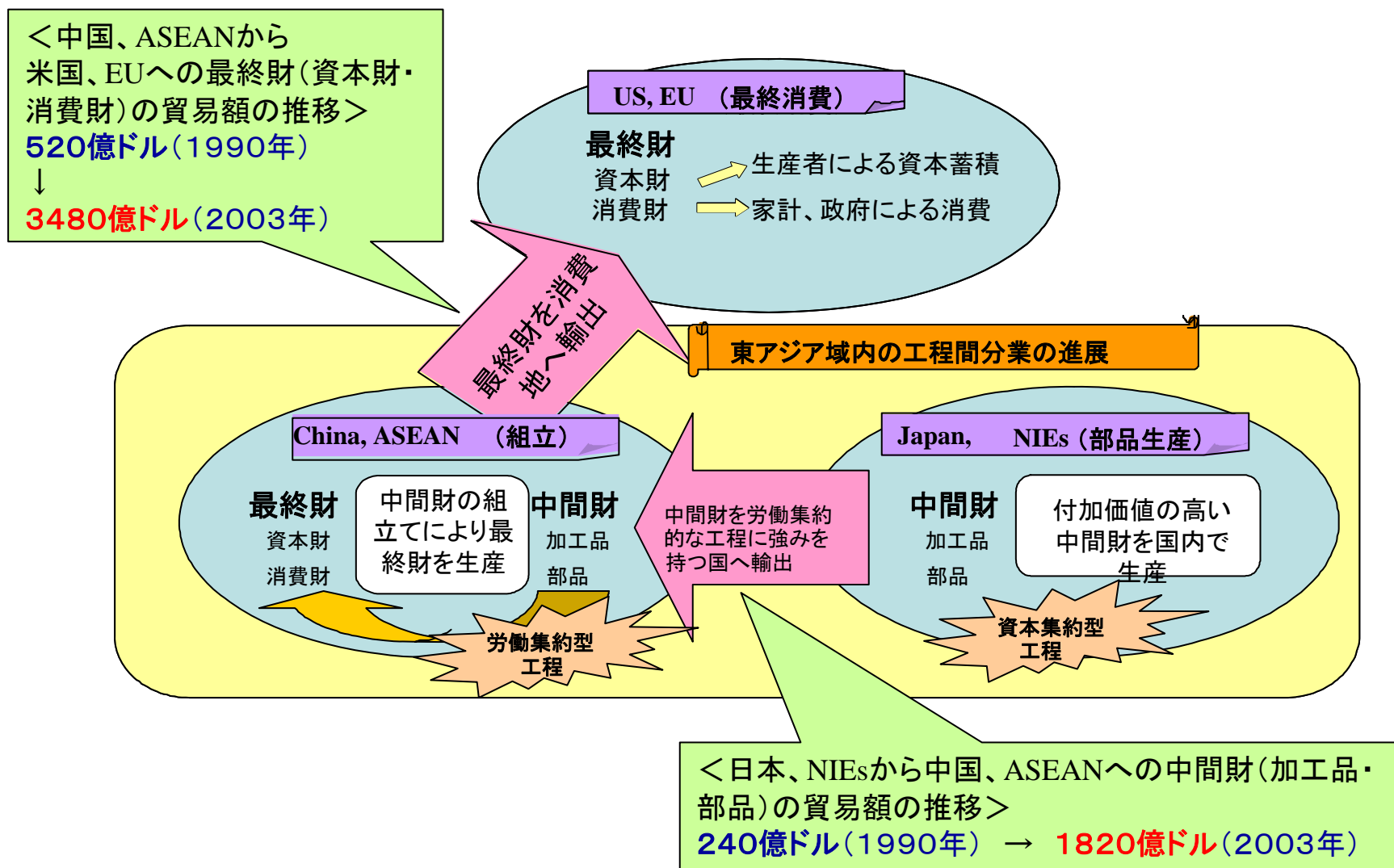
(資料4) 我が国経済を支える基幹産業(現状)



最終製品から部品・材料、製造装置、ものづくり中小企業など、幅広い関連産業が比較的狭い国土に高密度に立地していることが我が国の強み。

出所: 経済産業省 工業統計表(2004年出荷額)、特定サービス産業実態調査(2004年情報サービス業) 写真は各社HPから

(資料5) 東アジア域内の工程間分業の進展

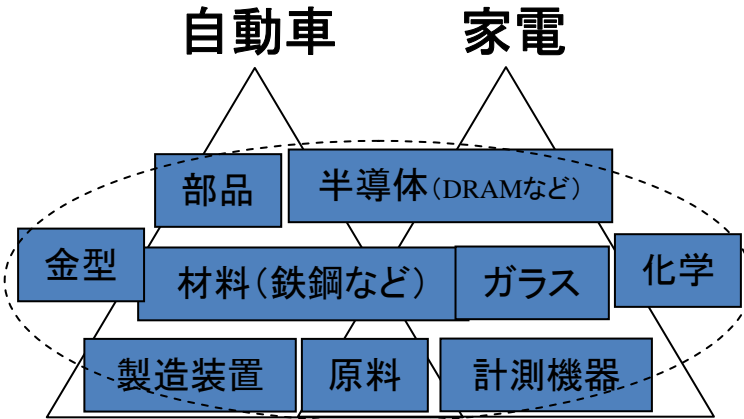


◆最終財と中間財

最終財とは製造設備などの資本財や一般消費者が使用する消費財のこと。
 中間財とは、これら最終財を生産するために必要となる部品や加工品のこと。

(資料6) 2010年以降の新産業群

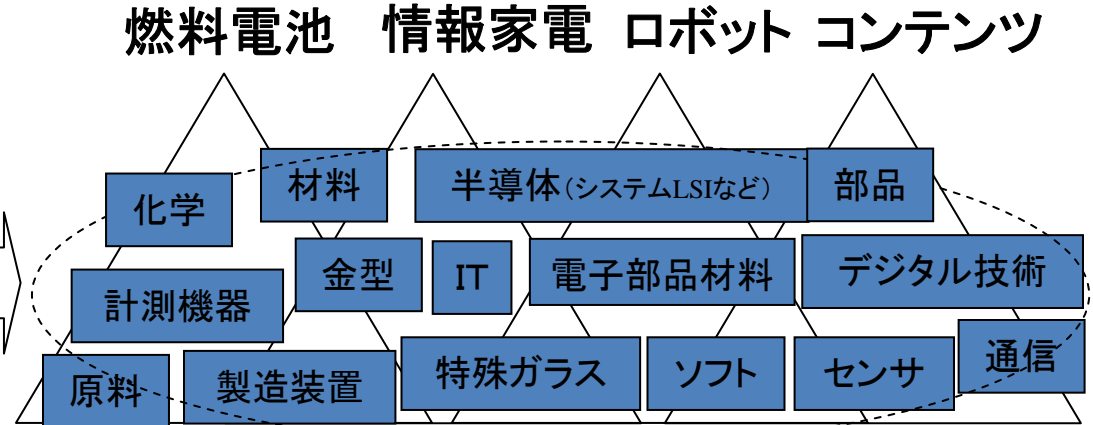
現在の2大産業群



43兆円 66兆円

空洞化(90年代以降)

2010年の新産業群 ()内2025年



1兆円 (8兆円) 18兆円 (29兆円) 2兆円 (6兆円) 17兆円 (29兆円)

国内回帰(2003年頃から)

更に「高度信頼性産業群」へ進化

【強み】

- 「高度部材産業集積」を核とした擦り合わせの連鎖
- 取引関係のメッシュ化と新たな企業間連携
- 技術課題に真摯に取り組むものづくりの姿勢
- 濃密なコミュニケーション、スピードときめの細かさ
- 信頼性の高いモノづくり

(資料7) 在職労働者平均月間給与

大連市の在職労働者平均月間給与

(単位:元、%)

年次	労働者平均月間給与	伸び率
2001年	1,124	13.4
2002年	1,294	15.1
2003年	1,463	13.1
2004年	1,643	12.2
2005年	1,822	10.9
2006年	2,017	10.7
2007年	2,353	16.7
2008年	2,859	21.5

出所:大連統計局、大連市労働社会保障局HP

2008年度中国主要都市の在職労働者平均月間給与

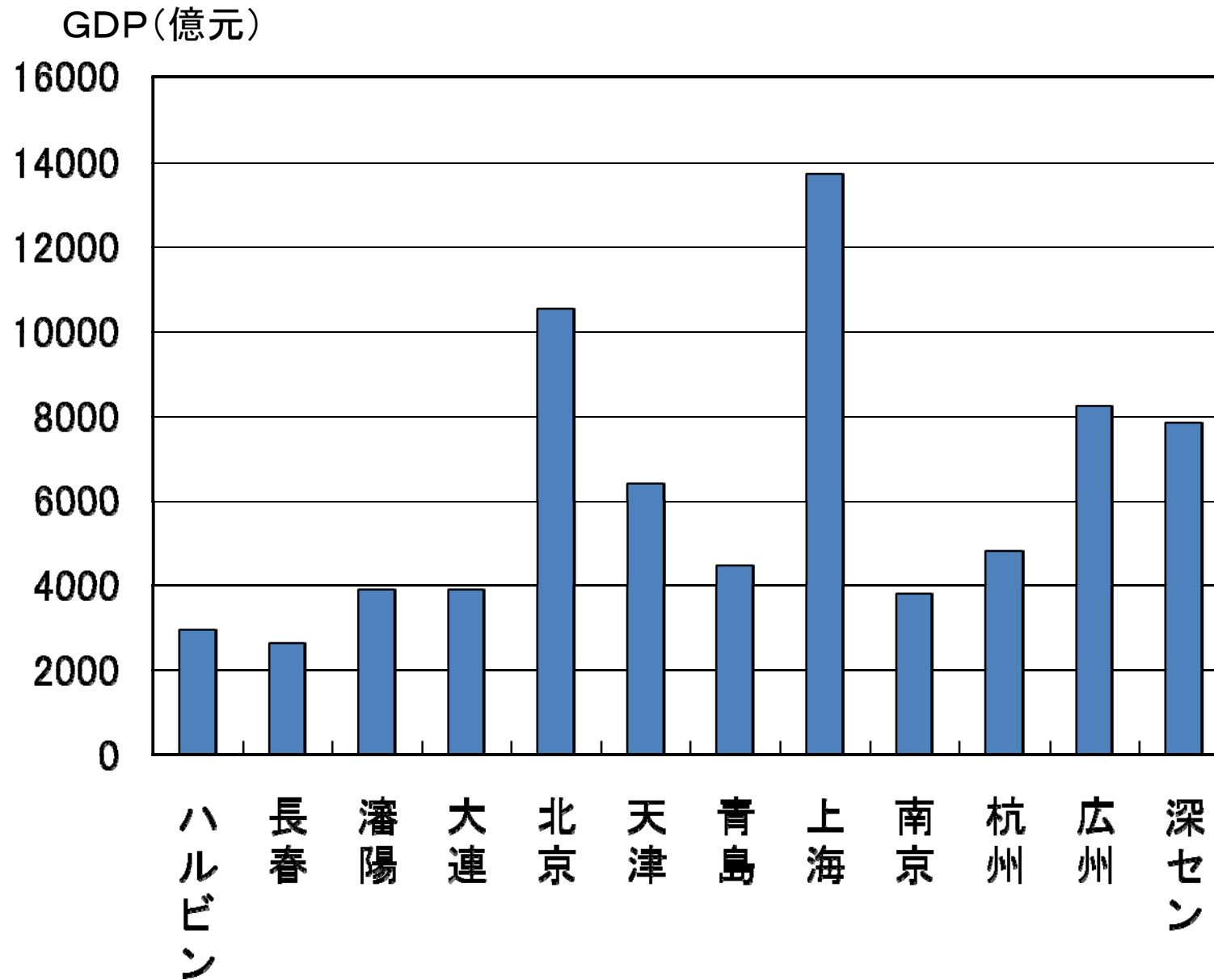
(全国平均は2,436)

(単位:元)

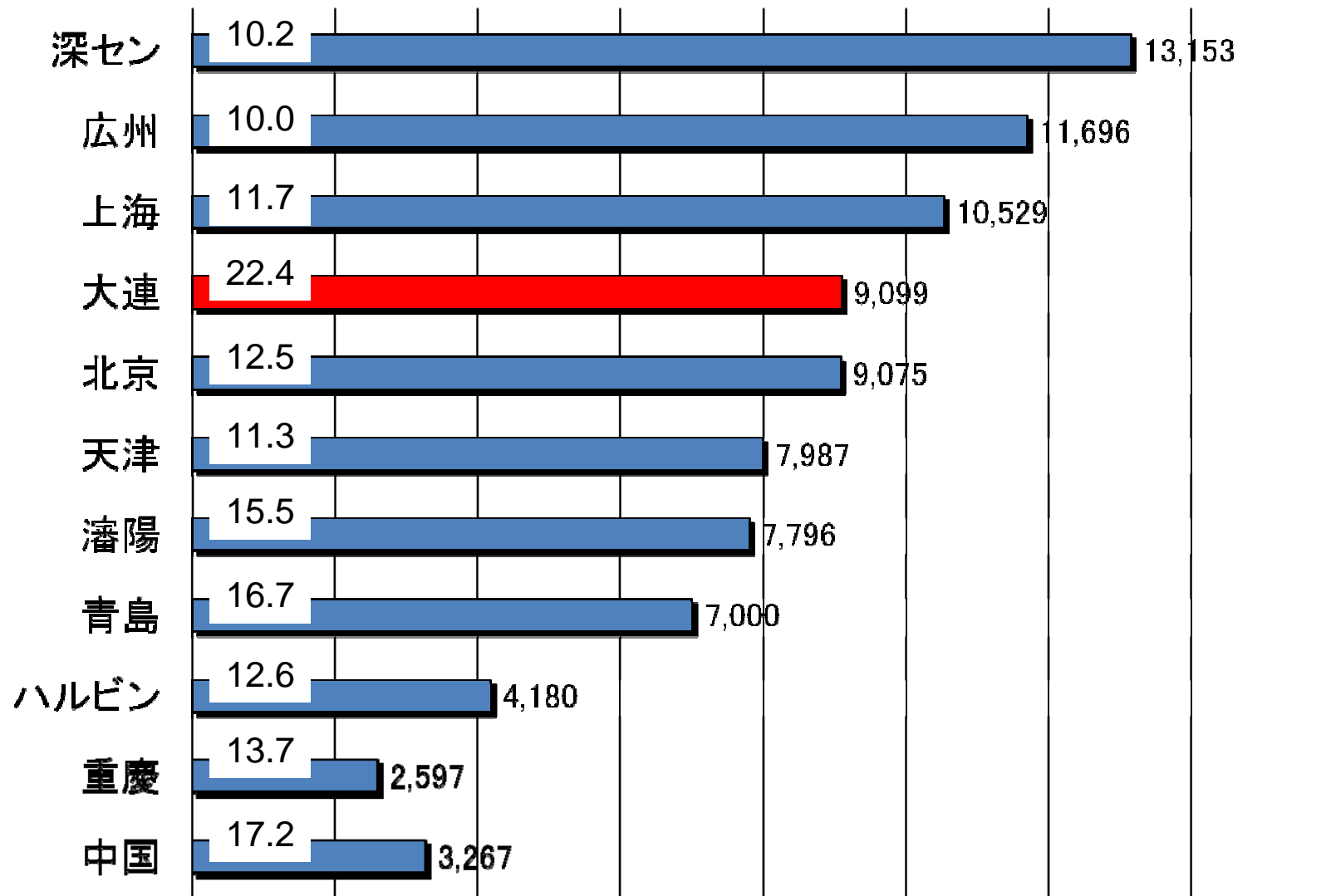
都市別		在職労働者平均月額給与	都市別		在職労働者平均月額給与
1	広州	3,780	11	瀋陽	2,795
2	北京	3,726	12	アモイ	2,695
3	深セン	3,621	13	合肥	2,550
4	天津	3,465	14	西安	2,479
5	南京	3,323	15	武漢	2,369
6	上海	3,292	16	杭州	2,322
7	無錫	3,237	17	重慶	2,249
8	蘇州	3,008	18	長春	2,247
9	寧波	2,986	19	ハルビン	2,127
10	大連	2,859	20	青島	1,941

出所:2009年ジェトロ調べ

(資料8) 中国主要城市のGDP(2008年度)



(資料9) 中国主要都市の一人当たりGDP(08年)



(注) 右の数字は一人当たりGDP(ドル)、左の数字は前年比成長率(%)

出所: 各市の速報値よりジェトロ作成